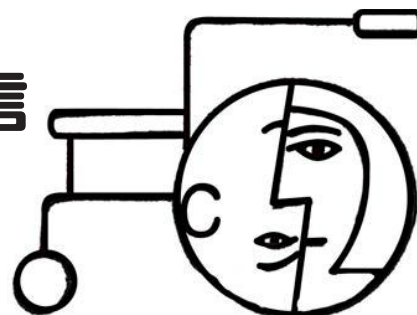


2022年2月24日 NO.128号

# 障害児・者サークル通信

発行：性教協★障害児・者サークル事務局  
〒591-8046 大阪府堺市北区東三国ヶ丘町5-2-10 千住方  
E-mail seikyokyo\_kansai@yahoo.co.jp  
HP <http://shogaiji.seikyokyo.org/>



●特集：各地からの活動報告 ～東京・福井・埼玉・仙台・岐阜より～	1
●第7回せいかつをゆたかに障害児・者性教育セミナーを終えて	4
●「障害と生きる」青年たちの今から	5
●なんちゃってルポ「保健室・教室・放デイ」	6
●連載「親ばなれ子ばなれ」その5	8
●寄宿舍の本棚の周りで… / お知らせ	10

## 特集

### 各地からの活動報告

～東京・福井・埼玉・仙台・岐阜より～

#### ◆ 東京性教育実践研究会

支援者や教員、当事者や保護者の思いに寄り添いながら、多面的に包括的性教育を考えていく会として発足して8年、通算52回の例会を開催してきました。

「東京の性教育を進める会」が主催し、都教組障害児学級部や都障教組が後援団体となり、企画や参加の呼びかけなどでも協力しあいながら進めています。2021年は、実践報告から学びあうことを大切にしつつ、専門家を招いての学習を織り込みながら、5回の例会をオンラインで開催しました。

◎実践報告から学ぶ…10月には、2人の若い教師の実践報告を受けました。管理的な色彩が強い厳しい学校現場の中で取り組んだ実践が語られました。苦しみながら頑張っている教師たちに、自分の立ち位置を考えつつ、どう取り組んでいけばよいのかについても様々な意見が交わされました。

12月には卒業生のいる作業所などへ出向き、長年にわたり性の学びを届けている田中さんの実践報告を受けました。持ち味を生かして、青年たちと学び

あう映像からは、性教育の楽しさが伝わってきました。

9月は「まさか 我が子が…！」と題して、我が子が性犯罪に巻き込まれた事件の顛末を、性教育の実践者でもある高木さんが報告。父親としての思い、加害者への眼差し、傷ついた子のケア、学校や警察の対応など、今後の行方も含めて様々な視点から考えさせられた例会でした。

◎講演会…2回の講演会を開催。1回は渡辺大輔氏を講師に「ガイダンス（改訂版）を学ぶ」、2回目は立正大学の鈴木浩之氏を講師に「子ども虐待の基本的理解」について、でした。2人の講師の話はわかりやすく、基本が理解できたと好評でした。（鈴木さんの講演 通信125号参照）

気軽に参加して学び、困りごとを相談できる場になっています。対面で議論を深めることができる日を心待ちしつつも、ZOOMで開催できるありがたさも感じています。

（任海園子）